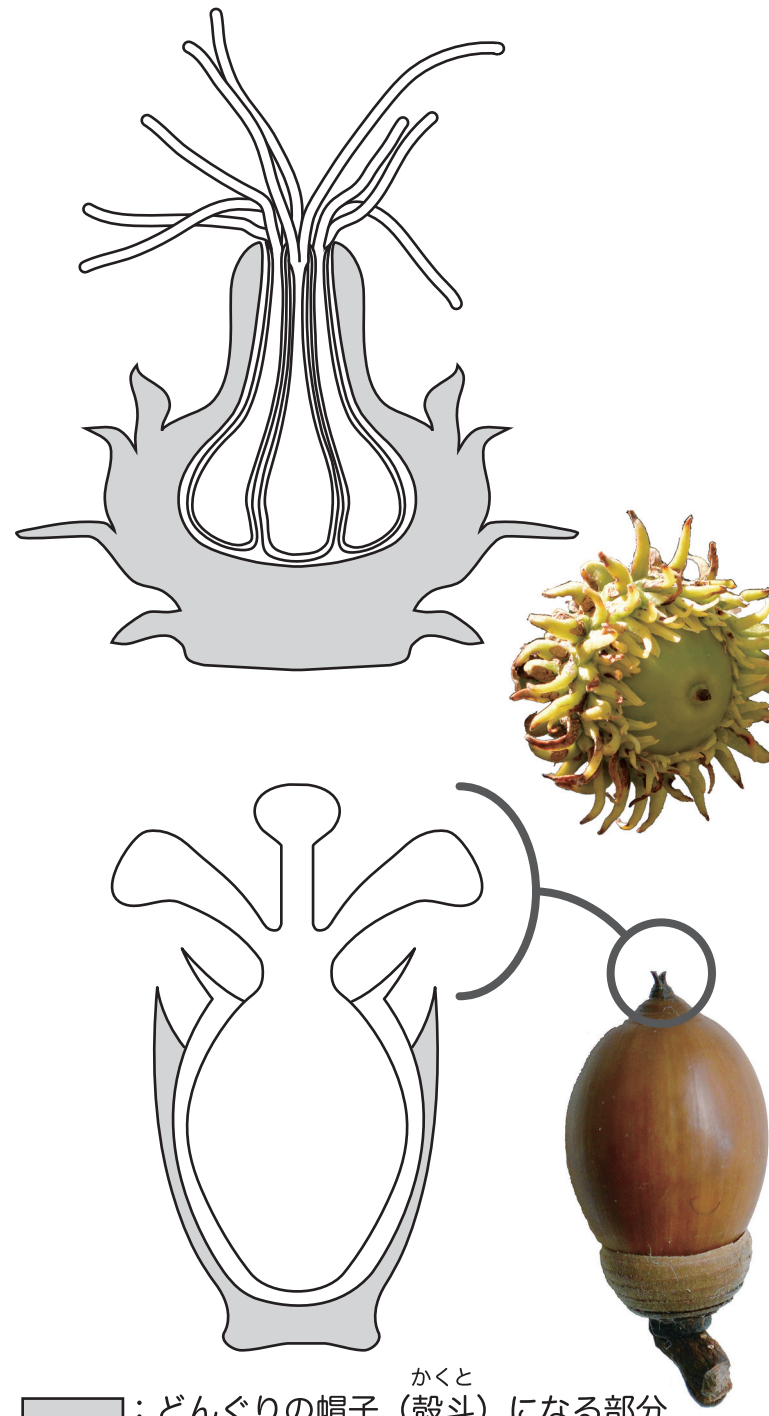


# どんぐりの出発点はどんぐりの花

どんぐりは実なので、花から出発します。どんぐりの花を見たことがありますか？  
 まずは、実と帽子（殻斗）の関係がわかりやすいクリの花を紹介します。



クリ雌花：小さくても「いがぐり」のかたちをしていますね。飛び出しているクリーム色の部分はめしべです。クリの「いが」（クリの殻斗の呼び名）の中には、3つの実が入っています。

大きくなる途中のクヌギのどんぐりです。イガのような帽子のほうがまだ大きいです。実の方もこのあとぐんぐん大きくなります。



アラカシ雌花：写真の赤く色づいているあたりが大きくなって、どんぐりの帽子や実の部分になります。黄色い3つの突き出た部分はめしべの一部で、どんぐりになってもてっぺんの部分になごりが残っていますよ。

かくと  
 どんぐりの帽子（殻斗）になる部分  
 めばな  
 どんぐりの雌花をたてに切った絵  
 どんぐりの花にはキュウリやカボチャのようにオスとメスがあり、どんぐりに成長するのはメスの花です。

# どんぐりころころ、どんぐりいろいろ

どんぐりは、ブナ科のいろいろな植物の実をまとめて呼ぶ名前です。三角おにぎりのようなクリとくらべて、コロンとしたまるいかたちから、団（まる）い栗、つまり、どんぐりと呼ばれるようになったといわれています。



かくと  
 実のかたちも、殻斗（どんぐりの帽子）のかたちもいろいろです。殻は、表面を覆う固い「から」、斗は「ひしゃくのかたちのうつわ」という意味です。

2014年度 九州大学総合研究博物館講演会「科学描画 -科学と芸術のはざま-」 運動ワークショップ「毛糸で「描こう」！ポンポンでどんぐり」  
 作成：福原美恵子（九州大学総合研究博物館）  
 「ハンドクラフトを介した生物標本作成プログラムと発信手法の開発」（科学研究費補助金奨励研究 課題番号 26907027）の助成を受けて作成しました。



本作品の利用許諾については、原作者のクレジットを表示し、かつ非営利目的であれば、変更したり再配布したりすることができます。詳しくはクリエイティブコモンズ CC BY-NC 2.1 JP のウェブページをご覧ください。  
<http://creativecommons.org/licenses/by-nc/2.1/jp/>



さわるとふわふわ～

# ポンポンでどんぐり

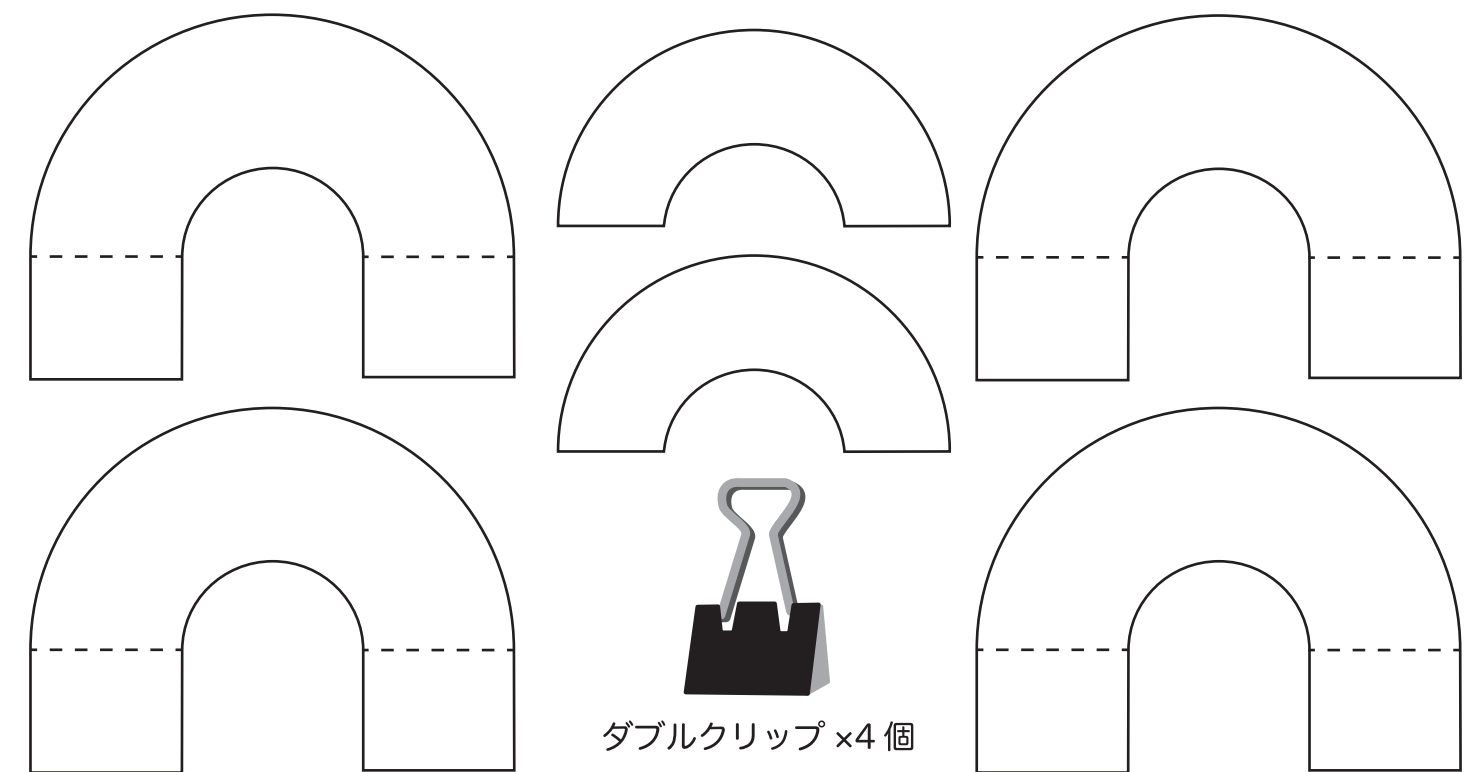


かんさつ  
 けいと  
 どんぐりをよく観察して、毛糸でつくってみませんか？

## 用意するもの

- 毛糸 並太～極太（アクリルのものが安価であつかいやすい。）
- かぎ針 7/0～8/0号
- ハサミ
- 定規
- ポンポンの型板（下の型紙を段ボール等に写して切り抜く。）
- ダブルクリップ

この型紙で直径 約 7cm のポンポンが出来ます。



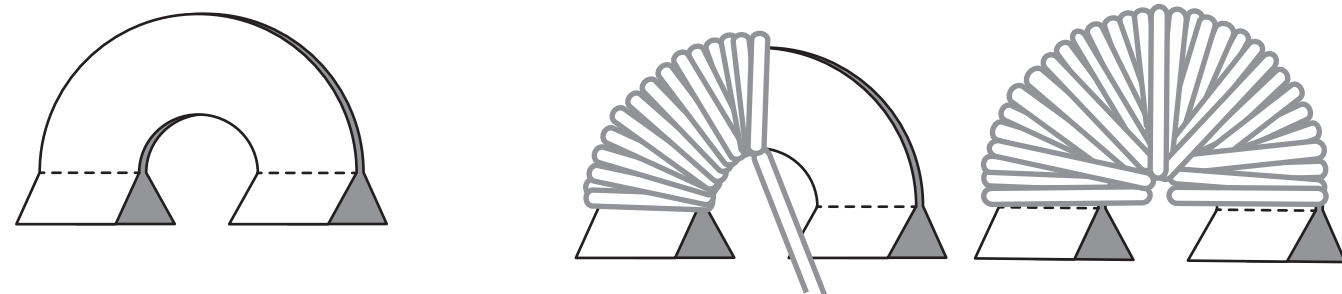
ポンポン 1 個に必要な  
型板とダブルクリップ

### かたい 型板をつくります

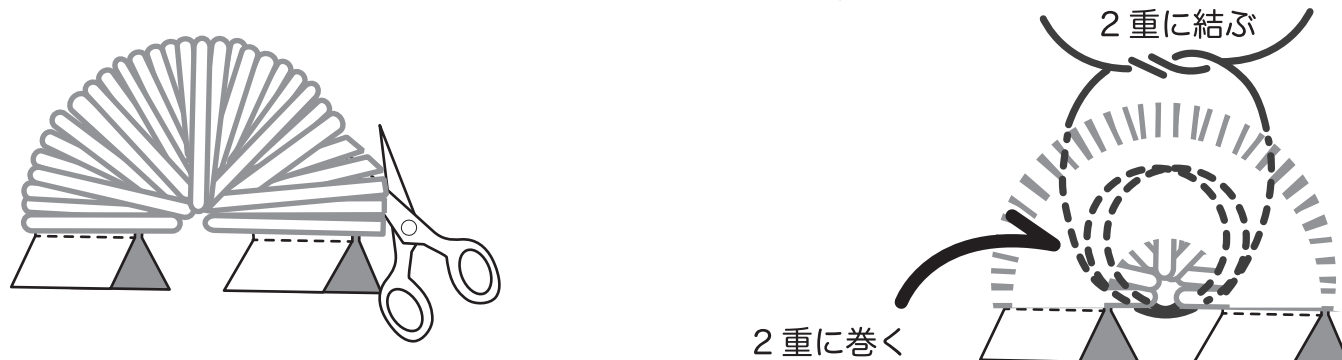
- 大きなパーツに  
小さいパーツをかさねて  
のりづけする。
- 点線に定規をあて折り目をつける。  
うらがえす。

## ぽんぽんのどんぐり - 帽子のつくりかた

- 型板を向かい合わせに重ねる。
- 折り目より上、中心の半円が埋まるまで糸を巻きつける。

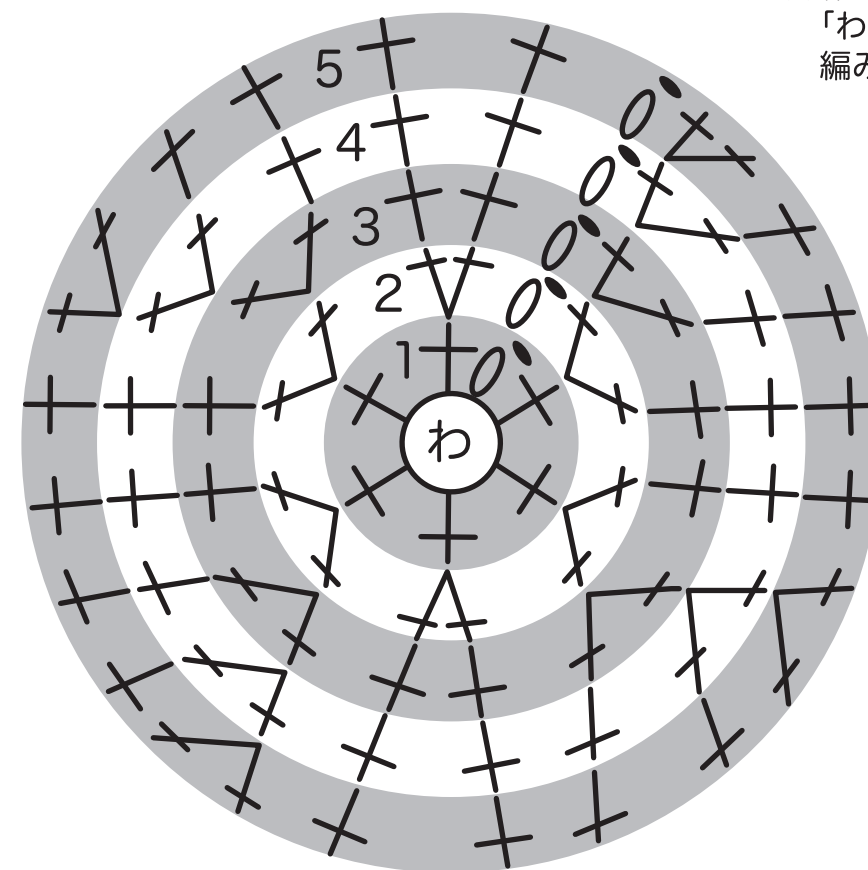


- 台紙の間にハサミを入れ、  
巻いた毛糸を切る。
- 30cm 程度の結び糸を用意する。台紙 2 枚の間に結び糸  
を入れ、しっかり結ぶ。



### あ 編んでつくるどんぐりの帽子のあみ図

☆作り目のはしの糸は長めに(20cm 程度)残す。  
「わ」から作る作り目に、立ち上がり一目鎖  
編みを編み、細編みを 6 目編み入れる。



- くさり鎖編み
- こま細編み
- 細編み 2 目編み入れる
- ひぬ引き抜き編み

☆編み上がりは、うろこ状の殻斗（帽子）  
になる。また、編み地を裏返して使っ  
ても変化がでる。

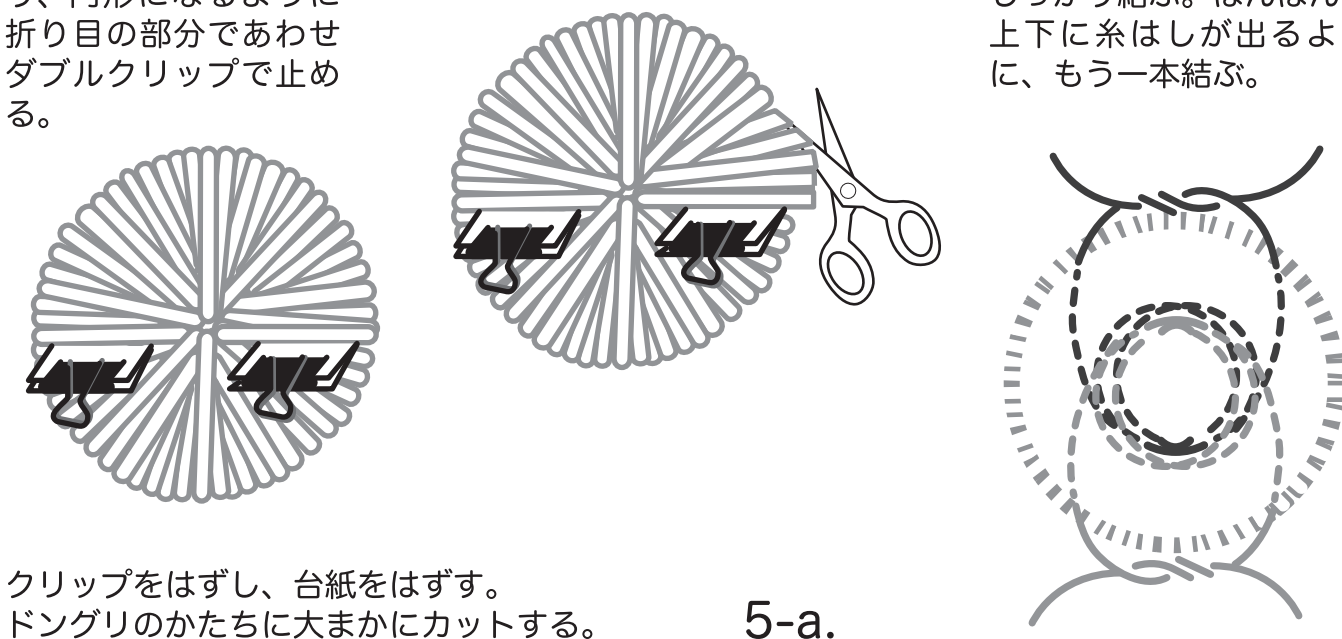
☆ 2 段目からの細編みを「細編みのす  
じあみ」にするとリング状の殻斗（帽  
子）になる。

- こま細編みのすじあみ

※編みかたは、おしえてもらったり、本やインターネットでしらべてくださいね。

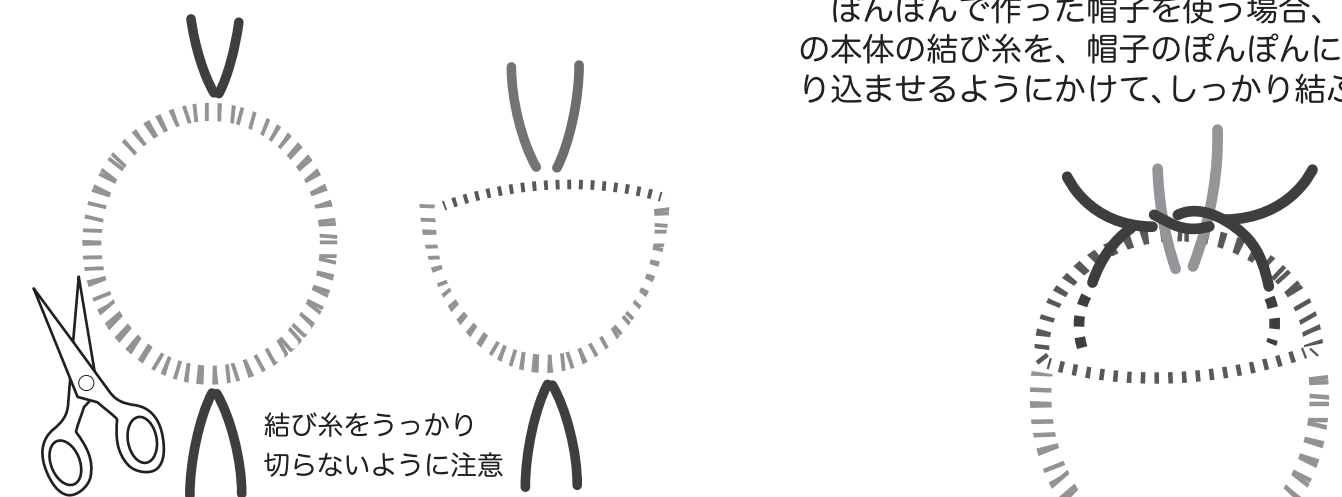
## ぽんぽんのどんぐり - 実の作り方

- どんぐりの帽子の作り  
方の 2 までを 2 組つくり、円形になるように  
折り目の部分であわせ  
ダブルクリップで止め  
る。
- 台紙の間にハサミを入れ、  
巻いた毛糸を切る。
- どんぐりの帽子の作り方の  
4 を参考に結び糸を入れ、  
しっかり結ぶ。ぽんぽんの  
上下に糸はしが出るよう  
に、もう一本結ぶ。



- クリップをはずし、台紙をはずす。  
ドンぐリのかたちに大まかにカットする。

- 5-a.  
帽子と本体を合体させる。  
ぽんぽんで作った帽子を使う場合、実  
の本体の結び糸を、帽子のぽんぽんに潜  
り込ませるようにかけて、しっかり結ぶ。



- かぎ針で編んだ帽子を使う場合は、  
上部も丸くカットする。
- ぽんぽんで作った帽子を使う場合は、  
上部はたいらにカットする。

- 5-b.  
帽子と本体を合体させる。  
編んで作った帽子を使う場  
合、帽子の中心の穴から実の本  
体からの糸を引き出し、帽子と  
実をしっかり結ぶ。
- さらにカットして、かたちをと  
とのえて完成！